

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【公開番号】特開2013-222979(P2013-222979A)

【公開日】平成25年10月28日(2013.10.28)

【年通号数】公開・登録公報2013-059

【出願番号】特願2012-91212(P2012-91212)

【国際特許分類】

H 04 N	1/46	(2006.01)
G 01 J	3/50	(2006.01)
B 41 J	29/46	(2006.01)
G 06 F	3/12	(2006.01)
H 04 N	1/60	(2006.01)

【F I】

H 04 N	1/46	Z
G 01 J	3/50	
B 41 J	29/46	A
B 41 J	29/46	D
G 06 F	3/12	K
H 04 N	1/40	D

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月13日(2015.4.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被記録媒体上に特定の色材を用いて特定の色材構成で作成された測定対象のパッチ画像に、可視光の波長域のうちの一部の波長域を含む光を照射して測定した分光反射率を、実測分光反射率として取得する第1取得手段と、

被記録媒体上に前記特定の色材構成で作成されたパッチ画像に、前記一部の波長域以外の波長域を含む光を照射して予め測定した分光反射率を、リファレンス分光反射率として取得する第2取得手段と、

前記実測分光反射率及び前記リファレンス分光反射率に基づいて調整値を特定する調整手段と、

前記調整値及び前記リファレンス分光反射率に基づいて前記所定の波長域以外の波長域の分光反射率を特定する補間手段と、

前記実測分光反射率及び前記補間手段により特定した分光反射率を用いて前記パッチ画像の補間済み分光反射率を生成する生成手段と、
を備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項2】

請求項1に記載のデータ処理装置において、

前記特定の色材構成とは異なる色材構成からなる第二パッチ画像の色材構成を取得する第3取得手段と、

前記補間済み分光反射率から、色予測式を用いて前記第二パッチ画像の分光反射率を予測する色予測手段と、

前記実測分光反射率及び前記色予測手段により予測した予測分光反射率に基づいて第二調整値を特定する第二調整手段と、

前記第二調整値及び前記予測分光反射率に基づいて前記所定の波長域以外の波長域の分光反射率を特定する第二補間手段と、

前記実測分光反射率及び前記第二補間手段により特定した分光反射率を用いて前記第二パッチ画像の補間済み分光反射率を生成する第2生成手段と、
を備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項3】

請求項1に記載のデータ処理装置において、前記調整手段は、前記実測分光反射率と、前記実測分光反射率に対応する波長のリファレンス分光反射率との比率に基づいて所定の波長毎に調整値を特定することを特徴とするデータ処理装置。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか一項に記載のデータ処理装置において、前記リファレンス分光反射率は、前記一部の波長域も含む光を照射して予め測定した分光反射率であることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項5】

請求項1～4のいずれか一項に記載のデータ処理装置において、前記第2取得手段は、前記リファレンス分光反射率を被記録媒体の種類毎に取得することを特徴とするデータ処理装置。

【請求項6】

請求項1～5のいずれか一項に記載のデータ処理装置において、被記録媒体上に印刷された測定対象のパッチ画像に、可視光の波長域のうちの一部の波長域を含む光を照射して分光反射率を測定する測色部をさらに備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項7】

請求項1～6のいずれか一項に記載のデータ処理装置において、被記録媒体上に前記パッチ画像を印刷する印刷部をさらに備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項8】

被記録媒体上に特定の色材を用いて特定の色材構成で作成された測定対象のパッチ画像に、可視光の波長域のうちの一部の波長域を含む光を照射して測定した分光反射率を、実測分光反射率として取得する第1の取得工程と、

被記録媒体上に前記特定の色材構成で作成されたパッチ画像に、前記一部の波長域以外の波長域を含む光を照射して予め測定した分光反射率を、リファレンス分光反射率として取得する第2の取得工程と、

前記実測分光反射率及び前記リファレンス分光反射率に基づいて調整値を特定する調整工程と、

前記調整値及び前記リファレンス分光反射率に基づいて前記所定の波長域以外の波長域の分光反射率を特定する補間工程と、

前記実測分光反射率及び前記補間工程により特定した分光反射率を用いて前記パッチ画像の補間済み分光反射率を生成する生成工程と、
を備えることを特徴とするデータ処理方法。

【請求項9】

請求項8に記載のデータ処理方法をコンピュータにより実行することを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決する本発明の態様は、被記録媒体上に特定の色材を用いて特定の色材構

成で作成された測定対象のパッチ画像に、所定の波長域の光を照射して測定した分光反射率を、実測分光反射率として取得する第1取得手段と、被記録媒体上に前記特定の色材構成率で作成されたパッチ画像に、前記所定の波長域以外の波長域を含む光を照射して予め測定した分光反射率を、リファレンス分光反射率として取得する第2取得手段と、前記実測分光反射率及び前記リファレンス分光反射率に基づいて調整値を特定する調整手段と、前記調整値及び前記リファレンス分光反射率に基づいて前記所定の波長域以外の波長域の分光反射率を特定する補間手段と、前記実測分光反射率及び前記補間手段により特定した分光反射率を用いて前記パッチ画像の補間済み分光反射率を生成する生成手段と、を備えることを特徴とするデータ処理装置にある。